

2015年度事業報告

I. 2015年度事業方針

食の文化研究の深耕の「機会」と「場」としての機能発揮をより強化するとともに、食文化の情報発信機能を見直し、充実を図る。

II. 2015年度事業報告

1. 食の文化フォーラム

- (1) 2015年度食の文化フォーラム開催(2015/6・9・3)
年間テーマ「採集から栽培へ」
コーディネーター: 江頭宏昌(山形大), 総合司会: 中嶋康博(東大大学院)
第1回セッション「採集と栽培」(2015/6)
「木の実、野草、山菜の利用」野本寛一(近大名誉教授)
「半栽培から栽培へ」佐藤洋一郎(人文機構)
「栽培種の伝播」山口裕文(東農大)
第2回セッション「在来農法と近代農法」(2015/9)
「在来農法」落合雪野(龍谷大)
「近代農法」秋津元輝(京大)
「品種改良(プラス面)」大澤良(筑波大)
第3回セッション「近代農法を超えて」(2016/3)
「栽培技術の最先端の問題点」古在豊樹(千葉大名誉教授)
「有機・自然農法の見直し」榊淵俊子(元淑徳大大学院)
「総括講演」江頭宏昌(山形大)
- (2) 2014年度食の文化フォーラム開催記録本「野生から家畜へ」刊行(2015/9)
- (3) 食の文化フォーラム会員サイト開設(2015/7)

2. 食の文化シンポジウム

- (1) 食の文化誌「vesta」100号記念シンポジウム開催(2015/10)
テーマ: 「共食ーあなたは誰と食事しますか」(食の文化誌「vesta」100号特集テーマ連動)
第一部 基調講演
「食事は人間に何をもたらしたか」山極寿一(京大総長)
第二部 パネルディスカッション
コーディネーター: 高田公理(武庫川女子大名誉教授)
パネリスト: 山極寿一、藤本憲一(武庫川女子大)、石井智美(酪農学園大)

3. 和食文化保護・継承に貢献する研究支援

- (1) 「和食文化保護・継承に貢献する研究支援」実施(2014/11～2016/3)
- ① 中間報告書作成(2015/9)
「郷土食保護・継承の方法」8報、「学校給食を通じた和食文化の保護・継承」9報、計18報
- ② 最終報告書作成および報告会開催準備(2016/7予定)

4. 食の文化ライブラリー

(1) 公開図書館

来館者数	6,197 人	(対前年同期比	112%)
貸出人数	2,628 人	(対前年同期比	115%)
貸出冊数	7,926 冊	(対前年同期比	121%)

国文学研究資料館による蔵書の電子化を実施(2016/3)、日本古典籍総合目録データベースに収載予定。

(2)公開講座

- 「日本の匂い～発酵食品の知恵と文化を中心として」小泉武夫(東京農大名譽教授)(2015/6)
- 「江戸の飲み物～庶民から将軍まで」青木直己(元虎屋文庫)(2015/7)
- 「宮中の食～戦後の昭和天皇とともに」谷部金次郎(元宮内庁管理部大膳課)(2015/11)

(3)公開展示

- 「天皇の料理番 秋山徳三メニューカードコレクション展」開催(2015/11～2016/3)

5.食の文化誌「vesta」

- 98号特集「におい」高田公理(武庫川女子大名譽教授)(2015/4)
- 99号特集「やわらかい飲み物」太田心平(国立民族学博物館)(2015/7)
- 100号特集「共食ーあなたは誰と食事しますか」高田公理(武庫川女子大名譽教授)(2015/10)
- 101号特集「世界の食文化無形文化遺産」岩田三代(元日本経済新聞社)(2016/1)

6.食の文化ウェブサイト

(1)ホームページ

- 「料理の友」掲載開始(2015/9)

(2)メールマガジン

- 食の文化ライブラリー内に登録用QRコードおよびICリーダーを設置(2015/10)

(3)SNS

- 公式Facebookオープン(2015/12)

以上